

消防団は地域を守るヒーロー。

戸田市の消防団を紹介します。

第1分団 定員 13 名(現団員数11名)

下前、上戸田、下戸田他



第1分団の詰所は、7つの分団の中で唯一、消防署の敷地内に併設されており、消防職員の皆さんの活動を身近に見ることができます。職員の方に負けないように訓練を重ねています。



山田分団長

新曽、新曽南、氷川町他

第2分団 定員 13 名(現団員数 13 名)



石田分団長

第2分団は、市の中央が管轄となっており、管轄範囲が広く、同じく市の中央を管轄とする第3分団と並んで出動回数が多い分団です。その分、団員が集まる機会も多く、チームワークの良い分団です。



第3分団 定員 13 名(現団員数 13 名)

上戸田、本町、南町他



令和3年度に、新たに2名の団員が入団しました。うち1名は待望の女性消防団員です。総員の約半分となる6名が、入団してから10年未満の団員で構成されており、フレッシュなメンバーで日々活動しています。



鴨下分団長

喜沢、喜沢南

第4分団 定員 13 名(現団員数 12名)



金子分団長

団員の多くが管轄地域内の出身者であるため、地域の事情に精通している団員が多く、町会に対する救命講習など、地域に根差した活動をしています。



第5分団 定員 13 名(現団員数 11名)

戸田公園、川岸、下前他



詰所には、消防職員の独身寮が併設されており、職員の方と親睦を深める機会が多いです。平均年齢が他の分団に比べ高いですが、その分、経験豊富な団員が多いです。また、2名女性消防団員が所属しています。



金子分団長

早瀬、笹目南町、笹目他

第6分団 定員 13 名(現団員数 12名)



長谷川分団長

令和2年度に更新された最新のポンプ車を配備し、災害へ備えています。団員は20代から50代まで幅広い年齢層で構成されており、消防団活動を通じてコミュニケーションを取り合い、異なる世代間の交流をすることができます。



7 分団 定員 13 名(現団員数 11名)

美女木北、美女木他



第7分団は、管内に荒川や彩湖があります。台風や大雨による影響で、荒川や彩湖の水位が上昇した際には、すぐに詰所に集まり、地域住民の避難誘導や避難指示の広報を行う任務があります。



松本分団長

戸田市全域

機能別分団 定員 30 名(現団員数 14 名)

機能別分団は、基本団と違い、災害現場に行くことはありませんが、市内の小中学生に救命講習の指導や、火災を予防するための広報を行ったりしています。任期が最大5年と短いながらもさまざまな活動を通じ、地域に貢献している実感を得られます。



各分団の現団員数については、令和6年4月1日現在となります。